

令和3年度

第3回鹿島市地域公共交通会議・鹿島市地域公共交通活性化協議会

資料

P 1 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（案）

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

地域公共交通調査事業（地域公共交通計画策定事業）

P 9 市内公共交通利用促進週間（無料乗車期間）の実施（案）

令和4年1月12日

鹿島市地域公共交通活性化協議会

事業名：令和3年度地域内斐ーダー系統確保維持費国庫補助金

概要

市内循環バス

【運行主体】鹿島市地域公共交通活性化協議会
【運行事業者】株式会社自動車㈱
【運賃】100円
高校生以下200~100円
※運行区域により異なる



高津原のりあいタクシー

【運行主体】鹿島市地域公共交通活性化協議会
【運行事業者】㈲再耕庵タクシー
【運賃】大人300円、高校生以下100円



計画、目標 (Plan)

鹿島市公共交通網形成計画

計画：市民生活の支えとなる地域公共交通の確保・維持に向け、H22年10月より運行していた市内公共交通施設、商業施設及び主な病院を結ぶ市内循環バスと高津原のりあいタクシーの继续運行と路線バスの見直しに伴う予約型のりあいタクシー（デマンド型交通）の運行
目標：市内循環バス平均乗車数2.90人/便、高津原のりあいタクシー平均乗車数2.95人/便
予約型のりあいタクシー 北鹿島線・能古見線稼働率2割、古枝線3割

生活交通確保維持改善計画等の取組み(Do)

市内循環バスと高津原・予約型のりあいタクシーについて、協議会で確保維持改善事業を活用した運行内容協議し、生活交通確保改善計画を策定した。
市内循環バスと高津原のりあいタクシーについては燃焼運行等の要望もあり、徐々にではあるが定着が図られている現状がある。また、バス路線の廃止に伴いデマンド型交通を導入したことでの交通空白地域の解消が図られ、市内主要拠点へのアクセスが確保され、新たな交通網の確立が図られる。

実施状況、目標の達成(Check)

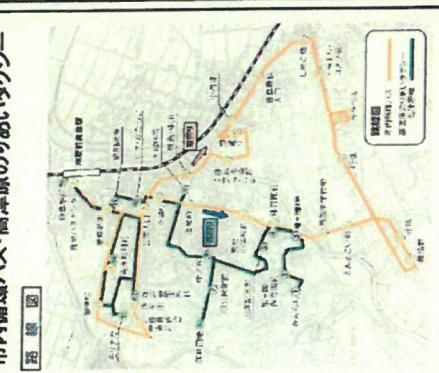
目標
市内循環バス 2.90人/便
高津原のりあいタクシー 2.95人/便
予約型のりあいタクシー（能古見線） 20.0%
" (北鹿島線) 20.0%
" (古枝線) 30.0%
実績：市内循環バス 3.33人/便
高津原のりあいタクシー 3.25人/便
予約型のりあいタクシー（能古見線） 7.5%
" (北鹿島線)
" (古枝線) 17.1%
市内循環バス・高津原のりあいタクシーについては、住民への周知や利用促進を目的として市報、ホームページ、また無料運行イベントを実施することにより、運行内容が定着し利便性向上の取組みが功を奏して目標を達成した。予約型のりあいタクシーについては、令和3年度においても運行したが、もともと公共交通の利用が少ない地域であつたことなどにより目標を達成することができなかつた。

今後の課題・対応(Action)

今後の課題
・市内循環バス・高津原のりあいタクシーについて、今回の結果に満足することなく利用者の増加につながるよう検証や課題整理をすることにより、必要に応じたダイヤや運行ルートの見直し、他の公共交通機関とのスマートな接続や住民ニーズに適した運行体系を目指す。
・予約型のりあいタクシーについて、周知・広報を強化し利用者の増加を図るとともに、費用対効果のバランスを検討した上で運行内容の見直しやニーズに適した運行体系を目指す。



市内循環バス・高津原のりあいタクシー



予約型のりあいタクシー

【運行主体】鹿島市地域公共交通活性化協議会
【運行事業者】㈲再耕庵タクシー
【運賃】大人300円、高校生以下100円
※運行区域
（北鹿島）木庭、広平、中川内（一部）
番在開拓、白鳥尾、山浦
山浦開拓、川内、筒口
（古枝）矢筈、七間、鉛越

基礎データ

人口：28,277人（令和3年11月末現在）
面積：112.12平方キロメートル
過疎地域等指定：なし
高齢化率：33.1%（令和3年11月末現在）
補助対象の系統数：6系統（確保維持事業のみ）
自治体負担額：H28.4,700千円、H30.3,400千円、R1.3,400千円
R2.0千円※繰越金で対応（確保維持事業のみ）、R3.13,323千円
協議会開催数：令和3年度 協議会3回

地域公共交通確保改善事業・事業評価・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名：鹿島市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名：地域内ファイダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
祐徳自動車株式会社:市内循環バス	市内循環バスの運行 (市内循環バスは人口密度が高く、高齢者が多い市内中心部において、住宅地と商業施設、病院、公共施設を循環する路線)	令和3年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページなどにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。また、交通計画策定に伴い、市民アンケートや高津原のりあいタクシー停留所での聞き取り調査など各種調査を実施、利用状況等の確認を行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 令和3年度は目標290人/便に対し、333人/便(西回り331人/便、東回り34人/便)で目標達成ができた。これまでに定期的な運行内容の見直しや地区回覧・市報・市HPなどの継続した広報活動による運行内容の周知や無料運行イベントの実施により利用促進に取り組むことにより、利用者数の増加につながったと考へる。	利用者のニーズ等を適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。また、他路線との乗継PRや学生・高齢者・障がい者・運転免許証自主返納者を対象とする運行イベント等を継続的に実施することで、新たな利用者の発掘を行い、更なる利用者増加に繋げる。
(有)再耕庵タクシー:高津原のりあいタクシー	高津原のりあいタクシーの運行 (高津原のりあいタクシーは人口密度が高く、高齢者が多い市内中心部において、城内・高津原地区と商業施設、病院、公共施設を結ぶ路線)	令和3年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページなどにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。また、交通計画策定に伴い、市民アンケートや高津原のりあいタクシー停留所での聞き取り調査など各種調査を実施、利用状況等の確認を行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 令和3年度は目標295人/便に対し、325人/便(日曜日運行)で目標達成ができた。これまでに定期的な運行内容の見直しや地区回覧・市報・市HPなどの継続した広報活動による運行内容の周知や無料運行イベントの実施により利用促進に取り組むことにより、利用者数の増加につながったと考へる。	利用者のニーズ等を適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。また、学生・高齢者・障がい者・運転免許証自主返納者を対象とする運行イベント等を継続的に実施することで、新たな利用者の発掘を行い、更なる利用者増加に繋げる。
(有)再耕庵タクシー:予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(能古見線)の運行 (効率的・効果的な運行を目指し、廃止路線代替バスから予約型のりあいタクシーへ)	令和3年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。また、運行内容の見直しや広報活動に加え登録者へのDMを実施し運行区間拡大、從来の運行から平日運行、運行時間の見直しや運行区域拡大、山浦地区からララベル(商業施設)の利用が主であるが、運行区域拡大により新たに地区(白鳥尾)からの利用も出始めている。地域の公共交通手段を確保することで、地域公共交通としての役割は果たしていると考へる。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 目標稼働率20%に対し、7.5%で目標達成はできなかった。理由としては、もともども公共交通の利用が少ない地域であったことに加えて、ご自身での車運転や家族送迎の利用が多いことが挙げられる。これまでに運行内容の見直し(曜日運行から平日運行、運行時間の見直し)や運行区域拡大、從来の広報活動に加え登録者へのDMを実施し運行内容の周知に努めた。山浦地区からララベル(商業施設)の利用が主であるが、運行区域拡大により新たに地区(白鳥尾)からの利用も出始めている。地域の公共交通手段を確保することで、地域公共交通としての役割は果たしていると考へる。	

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(有)再耕庵タクシー・予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(北鹿島線)の運行 (効率的・効果的な運行を目指し、廃止路線代替バスから予約型のりあいタクシーへ)	令和3年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等について、地区回覧、市報、市ホームページにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきつかけ作りのために無料運行イベントを実施した。無料運行イベントに合わせ、予約型のりあいタクシー登録者へ運行内容をまとめたパンフレットやイベントチラシのDMを郵送し、再周知を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 目標稼働率20%に対し、2.2%で目標達成はできなかつた。理由としては、そもそも公共交通の利用が少ない地域であつたことに加えて、自身での車運転や家族送迎の利用が多いことが挙げられる。また、井手・三部・新籠地区から志田が、全院までの用が主であつたことから、具体的に利用が落ち込んでいることが要因となっている。これまでに運行内容の見直し(曜日運行から平日運行、運行時間の見直し)や從来の広報活動に加え登録者へのDMを実施し運行内容の周知に努めた。地域公共交通としての役割は果たしていると考える。	これまでの運行実績や地域公共交通計画策定に伴う調査事業により課題の洗い出しを実施。次年度以降、運行内容の見直しや利用促進に係る取組PRや無料運行イベント等を実施することで新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。
(有)再耕庵タクシー・予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(古技線)の運行 (効率的・効果的な運行を目指し、廃止路線代替バスから予約型のりあいタクシーへ)	令和3年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等について、地区回覧、市報、市ホームページにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきつかけ作りのために無料運行イベントを実施した。無料運行イベントに合わせ、予約型のりあいタクシー登録者へ運行内容をまとめたパンフレットやイベントチラシのDMを郵送し、再周知を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 目標稼働率30%に対し、17.1%で目標達成はできなかつた。理由としては、もともと公共交通の利用が少ない地域であったことに加えて、ご自身での車運転や家族送迎の利用が多いことが挙げられる。これまでに運行内容の見直し(曜日運行から平日運行、運行時間の見直し)や運行区間拡大、從来の広報活動に加え登録者へのDMを実施し運行内容の周知に努めた。また、運行内容の見直しにより小学生が毎日利用しており、地域の公共交通手段を確保することで、地域公共交通としての役割は果たしていると考える。	これまでの運行実績や地域公共交通計画策定に伴う調査事業により課題の洗い出しを実施。次年度以降、運行内容の見直しや利用促進に係る取組PRや無料運行イベント等を実施することで新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。
(有)再耕庵タクシー・予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(古技線)の運行 (効率的・効果的な運行を目指し、廃止路線代替バスから予約型のりあいタクシーへ)	令和3年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等について、地区回覧、市報、市ホームページにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきつかけ作りのために無料運行イベントを実施した。無料運行イベントに合わせ、予約型のりあいタクシー登録者へ運行内容をまとめたパンフレットやイベントチラシのDMを郵送し、再周知を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 目標稼働率20%に対し、2.2%で目標達成はできなかつた。理由としては、もともと公共交通の利用が少ない地域であつたことに加えて、自身での車運転や家族送迎の利用が多いことが挙げられる。また、井手・三部・新籠地区から志田が、全院までの用が主であつたことから、具体的に利用が落ち込んでいることが要因となっている。これまでに運行内容の見直し(曜日運行から平日運行、運行時間の見直し)や從来の広報活動に加え登録者へのDMを実施し運行内容の周知に努めた。地域公共交通としての役割は果たしていると考える。	これまでの運行実績や地域公共交通計画策定に伴う調査事業により課題の洗い出しを実施。次年度以降、運行内容の見直しや利用促進に係る取組PRや無料運行イベント等を実施することで新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。

(参考)④事業実施の適切性

生活交通確保維持改善計画に基づく事業が適切に実施されたかを、A・B・Cの3段階で評価する。

- A 事業が計画に位置づけられた目標を達成した(する見込み)
- B 事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があつた(一部達成できない見込み)
- C 事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかつた(達成できない見込み)

(参考)⑤目標・効果達成状況

生活交通確保維持改善計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されて(達成でき)る見込み)かを、設定した目標ごとにA・B・Cの3段階で評価する。目標・効果が達成できなかつた(達成できない見込み)場合には、理由等を分析の上明らかにする。

- A 事業が計画に位置づけられた目標を達成した(する見込み)
- B 事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかつた(一部達成できない見込み)
- C 事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかつた(達成できない見込み)

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

別添1-2

令和4年1月 日

協議会名：	鹿島市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目的・必要性 (事業実施の目的・必要性)	本市は佐賀県の南西部に位置し、人口28,277人(令和3年11月末現在)、総面積112.12km ² で、北部に平地があるものの山間部が大部分を占め、高齢化率は33%(令和3年11月末現在)に達しており、年々高齢化が進んでいる。また、市内の公共交通としては、福岡市及び長崎市をそれぞれ約1時間で結ぶJR長崎本線、県内市町間の移動や市内で完結する路線バス、住宅密集地と商業施設や病院施設を結ぶ循環バスやのりあいタクシー、バス路線を廃止して導入したデマンドタクシーなどがある。 住民(特に交通弱者)や来訪者にとって安心で便利な移動手段を確保することを目的とし、路線バスなどの地域間幹線系統と市内循環バスやのりあいタクシーなどのフィーダー系統を接続させることで、地域公共交通ネットワークの構築を行う。

(参考資料) 令和3年度市内循環バス及びのりあいタクシーの運行状況
報告について

●市内循環バス、高津原のりあいタクシーの運行状況について

	年間乗車人数 (前年度比)	1便あたりの乗車人数 (前年度比)
市内循環バス	5, 875人 (+768)	3. 33人／便 (+0. 42)
高津原のりあいタクシー	1, 901人 (+112)	3. 25人／便 (+0. 21)

●予約型のりあいタクシーの運行状況について

	年間乗車人数 (前年度比)	稼働率（前年度比）	※年間稼働台数／ 年間計画台数
北鹿島線	28人 (-18)	2. 2% (-1. 5)	28台／1, 220台
能古見線	95人 (+8)	7. 5% (+0. 3)	92台／1, 220台
古枝線	784人 (+293)	17. 1% (+0. 3)	209台／1, 220台

鹿島市地域公共交通活性化協議会

事業名：令和3年度地域公共交通調査事業（地域公共交通計画策定事業）

調査事業の概要

（調査事業工リア）

鹿島市内全域

本市は佐賀県の南西部に位置し、北部には平地があるものの山間部が大部分を占め、東部は有明海に面している。市内の交通状況としては、国道207号線ハイバスが南北に、国道444号線、国道498号線、主要地方道鹿島嬉野線（県道41号）が東西に貫き、道路網を形成している。

（調査事業）

（1）概況整理

①関連計画等の整理 ②基礎データの整理

（2）現状分析・課題の整理

- ①公共交通の現状整理
- ②既存網計画の検証
- ③公共交通利用者の現状把握及びニーズ調査
- ④交通事業者、その他関係団体へのヒアリング調査
- ⑤公共交通空白地における移動手段の検証
- ⑥九州新幹線西九州ルート暫定開業に伴う交通体系・移動手段の検証
- ⑦公共交通に関する課題の整理
- ⑧計画の策定
- ⑨基本方針（将来像）、計画目標の設定
- ⑩計画目標を達成するための事業及び事業主体等の検討
- ⑪計画（原案）のとりまとめ
- ⑫パブリックコメントの実施支援
- ⑬計画書及び本計画概要版の案のとりまとめ
- ⑭会議の運営支援
- ⑮活性化協議会・交通会議等の運営支援

基礎データ

人口：28,277人（令和3年11月末現在）
面積：112.12平方キロメートル
過疎地域等指定：なし

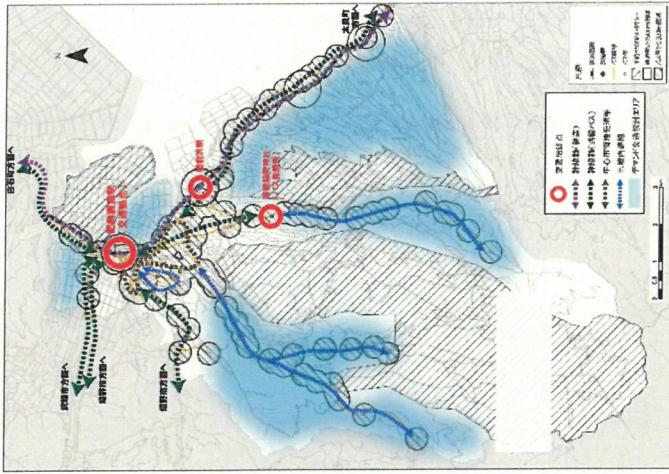
高齢化率：33.1%（令和3年11月末現在）
補助対象の系統数：6系統（確保維持事業のみ）

自治体負担額：H28 4,700千円、H29 3,400千円、R1 3,400千円
R2 0千円※繰越金で対応（確保維持事業のみ）、R3 13,323千円
協議会開催数：令和3年度 協議会3回

調査前の地域交通状況（Before）

現況の公共交通は、福岡市及び長崎市を結ぶJR長崎本線、県内市町間移動や市内で完結する路線バス、住宅密集地と商業施設や病院施設を結ぶ循環バスやのりあいタクシー、バス路線を廃止して導入したデマンドタクシーなどにより公共交通ネットワークを構築している。しかしながら、山間部等に点在する公共交通空白地の存在、令和4年秋予定の西九州新幹線の開業及びJR長崎本線の特急列車の減便、コロナウィルス感染症拡大等により増加する公共交通の維持費など課題を抱えている。

調査後の地域交通計画（After）



基本方針①

日常の移動ニーズに応えられる公共交通網の再構築
本市の多様な年齢層の移動ニーズを踏まえ、それらに応えられるよう、公共交通網の見直し・再構築を図ります。あわせて、交通空白地の解消に向けた移動手段の確保を検討します。

基本方針②

新たな広域移動の環境を支える幹線交通軸の形成
令和4年秋の西九州新幹線の開業により、本市をとりまく広域移動の環境が大きく変化する中、新幹線駅との間を結ぶバス路線を幹線交通軸として位置付けるとともに、JR 長崎本線（在来線）へのアクセス性を維持します。

基本方針③

鹿島市の活性化に寄与する交通ネットワークの充実
コンパクトな市街地の形成を推進するにあたり、市街地へアクセスできる公共交通ネットワークならびに中心市街地を循環するネットワークの維持・充実を図ります。また、観光客にともに利用しやすい公共交通網の形成を推進し、日常生活と観光の両面から本市の活性化を図ります。

基本方針④

利用促進の取組による持続可能な公共交通の運営
あらゆる年代に対応した公共交通の利用促進策を、商業・福祉・観光など、あらゆる関係主体と連携しながら促進し、ひいては利用者の増加による費用負担の軽減を図ります。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

協議会名：鹿島市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名：地域公共交通調査事業（地域公共交通計画策定事業）

令和4年1月 日

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は 地域公共交通計画等の 計画策定等に向けた方針
<p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概況整理 ・現状分析、課題の整理 ・計画の策定 ・会議の運営支援 <p>(結果概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的状況、人口・世帯状況、主要施設の立地状況など基礎的なデータ整理、総合計画や立地適正化計画との関連を整理した。 ・既存計画の達成状況の整理ほか、市民アンケート調査をはじめとする公共交通に関する各種調査をおこない、集計・分析のうえ、課題等の整理をした。 ・基本方針(将来像)、計画方針、実施事業など策定中。令和4年3月の完成を目指す。 	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>(補助対象事業名) 鹿島市地域公共交通計画策定業務</p> <p>(事業内容) 現状把握・整理、現状分析・問題課題抽出、基本方針・計画項目・数値指標の検証、目標達成に向けた施策の検討、計画策定、会議支援</p> <p>(実施時期) 令和4年3月策定予定</p> <p>(計画方針) 既存公共交通網の見直しや交通空白地の解消など公共交通網の再構築、西九州新幹線開業後の新たな広域移動を支える交通網の維持・改善、JR肥前鹿島駅前周辺整備全体構想など市の活性化に寄与する交通ネットワークの充実、運行内容など分かりやすい情報提供や高齢者や若年層への利用促進への取り組み等により持続可能な交通ネットワークの推進を図る。</p>

(参考)②事業実施の適切性

調査事業が適切に実施されたかを、A,B,Cの3段階で評価する。計画どおり実施されなかつた場合には、実施されなかつた事項及びその理由を明らかにする。

- A: 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された
- B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があつた
- C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかつた

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

別添1-2

令和4年1月 日

協議会名：	鹿島市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域公共交通調査事業（計画策定事業）
<p>本市は佐賀県の南西部に位置し、人口28,277人（令和3年11月末現在）、総面積112.12km²で、北部に平地があるものの山間部が大部分を占め、高齢化率は33%（令和3年11月末現在）に達しております、年々高齢化が進んでいます。また、市内の公共交通としては、福岡市及び長崎市をそれぞれ約1時間で結ぶJR長崎本線、県内市町間の移動や市内で完結する路線バス、住宅密集地と商業施設や病院施設を結ぶ循環バスやのりあいタクシー、バス路線を廃止して導入したデマンドタクシーなどがあります。</p> <p>本市において誰もが移動しやすい交通手段を確保することは、個人の自立した生活を支え、まちづくりや地域社会の活性化へ非常に重要な課題であり、また、令和4年度における利便性の低下が危惧されます。</p> <p>令和3年度に期間満了を迎える網形計画に替わり、路線バス、市内循環バス、のりあいタクシー、鉄道など既存の地域公共交通を見直し、地域の特性を考慮した地域公共交通を検証するため、地域公共交通のマスタープランとなる鹿島市地域公共交通計画を策定する。</p> <p>（事業実施の目的・必要性）</p>	



協議 2 市内公共交通利用促進週間（無料乗車期間）の実施について

市内循環バス・のりあいタクシーの利用促進のため、運行事業者の協力により期間を定めた無料運行をおこない、運行内容を周知及び利用促進のため次のとおり実施したい。（毎年2回実施中）

1. 無料運行期間 4月11日（月）～4月16日（土）
市内循環バス 6日間（月、火、水、木、金、土）
高津原のりあいタクシー 3日間（火、木、土）
予約型のりあいタクシー（北鹿島線、能古見線、古枝線）
 5日間（月、火、水、木、金）
2. 無料対象者
 - 学生（小学・中学・高校生）※在学中
 - 高齢者（満65歳以上）
 ※昭和33年（1958年）4月1日以前の生まれの方
 （令和4年度中に65歳以上になる方）
 - 障がい者（身体障がい者・療育・精神保健福祉手帳の交付を受けている方）及び介護人※1名につき1名まで
 - 運転免許自主返納者
3. 対象者の判定 基本学生証、保険証、障がい者手帳、運転経歴証明書等による要件確認を行う。
4. 期間中の運賃
 - 対象者が利用する全便全路線について無料
 - 昨年同様4月に実施する無料乗車人数分の運賃については、協議会（市）の負担とする。
 ※10月実施の運賃補填については、各運行事業者負担